

HIRATSUKA KYOUKAIHOU

No.265

平塚協会報

発行所：公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会 平塚支部
発行責任者：小山 祐司

令和3年定時総会開催される

4月16日(金)15時より、平塚プレジールにて神奈川労務安全衛生協会平塚支部令和3年の定時総会が開催されました。

総会は、司会の古河電気工業(株)勝木氏より総会宣言がなされ、支部長の古河電気工業(株)鈴木氏が開会の挨拶をされました。また議事に先立ち、平塚市長落合様よりご挨拶並びにご祝辞をいただきました。会則により支部長が議長に就任し、総会書記2名も選出され、総会がスタートしました。

各議事については以下の通りです。

■第1号議案「令和2年度 事業報告の承認を求める件」

副支部長のスタンレー電気(株)大矢氏、深堀事務局長より事業・活動報告が、各部長より部会活動実施報告がありました。

■第2号議案「令和2年度 収支決算報告の承認を求める件」

事務局長より決算内容の説明があり、日鍛バルブ(株)安池氏より、適正かつ正確である旨報告されました。

第1号議案、第2号議案は一括審議され、承認されました。

■第3号議案「令和3年度 事業計画審議の件」

副支部長より事業計画案の内容について報告、事務局長より補足説明がありました。

■第4号議案「令和3年度 収支予算審議の件」

引き続き、事務局長より予算内容の説明がありました。

第3号議案、第4号議案は一括審議され、承認されました。

■第5号議案「年会費改定の承認を求める件」

事務局長より、提案説明がありました。

審議の結果、第5号議案は承認されました。

■第6号議案「令和3年度 支部役員改選の承認を求める件」

事務局長より、提案説明がありました。

審議の結果、第6号議案は承認された。

この後、来賓の平塚労働基準監督署平本署長、本部古屋事務局長よりご祝辞をいただきました。さらに来賓列席者の紹介、最後に副支部長の日産車体(株)薬丸氏から閉会の挨拶が述べられ、定時総会は滞りなく終了しました。

大東化学(株) 岸 記



支部長交代就任のご挨拶

古河電工株式会社 平塚事業所 鈴木 治



平塚支部会員の皆様、本年4月1日より前任の市川から支部長職を引き継いだ古河電工(株)平塚事業所の鈴木と申します。

33年前に初の勤務地だったのが平塚でしたので、私にとって社会人としての基礎を学んだこの地は特別です。その後東京本社勤務や直近のドイツ駐在を経て、今般戻ってきた平塚に当職を通じて恩返しをしたいと考えておりますので、これからどうぞ宜しくお願いします。

さて、コロナ禍の影響が長引いていますが、仕事のスタイルとしてリモートワークが図らずも普及し、距離を問わずにコミュニケーションを取れるようになりました。ドイツに居た昨年はむしろ日本とのやり取りは以前よりも活発

になりましたが、新たな関係構築や情報入手において難しさを感じているのは世界共通ではないでしょうか。

今後は一時的に収束するにしても、毎年常に感染の脅威を念頭に経済活動を行わざるを得ない世の中になります。そのような状況で、企業活動における基礎である労働・安全・衛生をテーマとして扱う団体の存在は益々重要になっていくものと確信しています。

リスク管理において初動と並んで難しいのは、一旦安全サイドに過剰に設定した管理レベルをいつどこまで下げていけるのかという点です。政府は初動で新型コロナをSARSやジフテリアと同等の感染症第二類に指定し、それに伴い経済を犠牲にし、感染抑止を優先する措置が取られてきました。これを適正レベルにどう戻していくかを横の連携で確認し、安心・安全に活動していくための知恵を共有していく必要があります。

当支部におきましては、本部と連携を取りながら皆様のお役に立つ情報を今後も提供していきたいと考えておりますので、ご忌憚のない意見をお寄せ頂ければ幸いです。

新 任 ご 挨 拶

(令和3年4月1日付け人事異動)

平塚労働基準監督署 監督課長

葉山 崇行 (はやま たかゆき)



神奈川県労働局労働基準部賃金室から異動してまいりました。3年ぶりの平塚署勤務となり、平塚支部会員の皆様との再会を大変うれしく感じております。微力ながら、公正な労働環境の整備等に尽力し、管内の益々の発展に貢献してまいりたいと思いますので、前任者同様にご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

平塚労働基準監督署 安全衛生課長

林 太郎 (はやし たろう)



4月1日付けで小田原労働基準監督署から異動してまいりました。平塚署は14年ぶりの勤務となります。前任の高橋と同様、協会会員の皆様と一丸となり、地域の安全衛生水準向上のため、力を尽くしたいと思います。労働災害防止および健康確保対策の推進に今後ともご協力をお願いいたします。

平塚労働基準監督署 労災課長

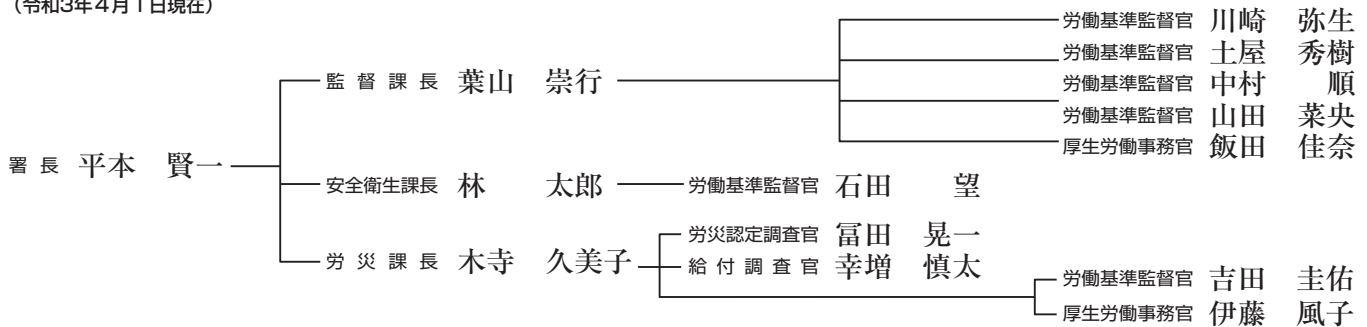
木寺 久美子 (きでら くみこ)



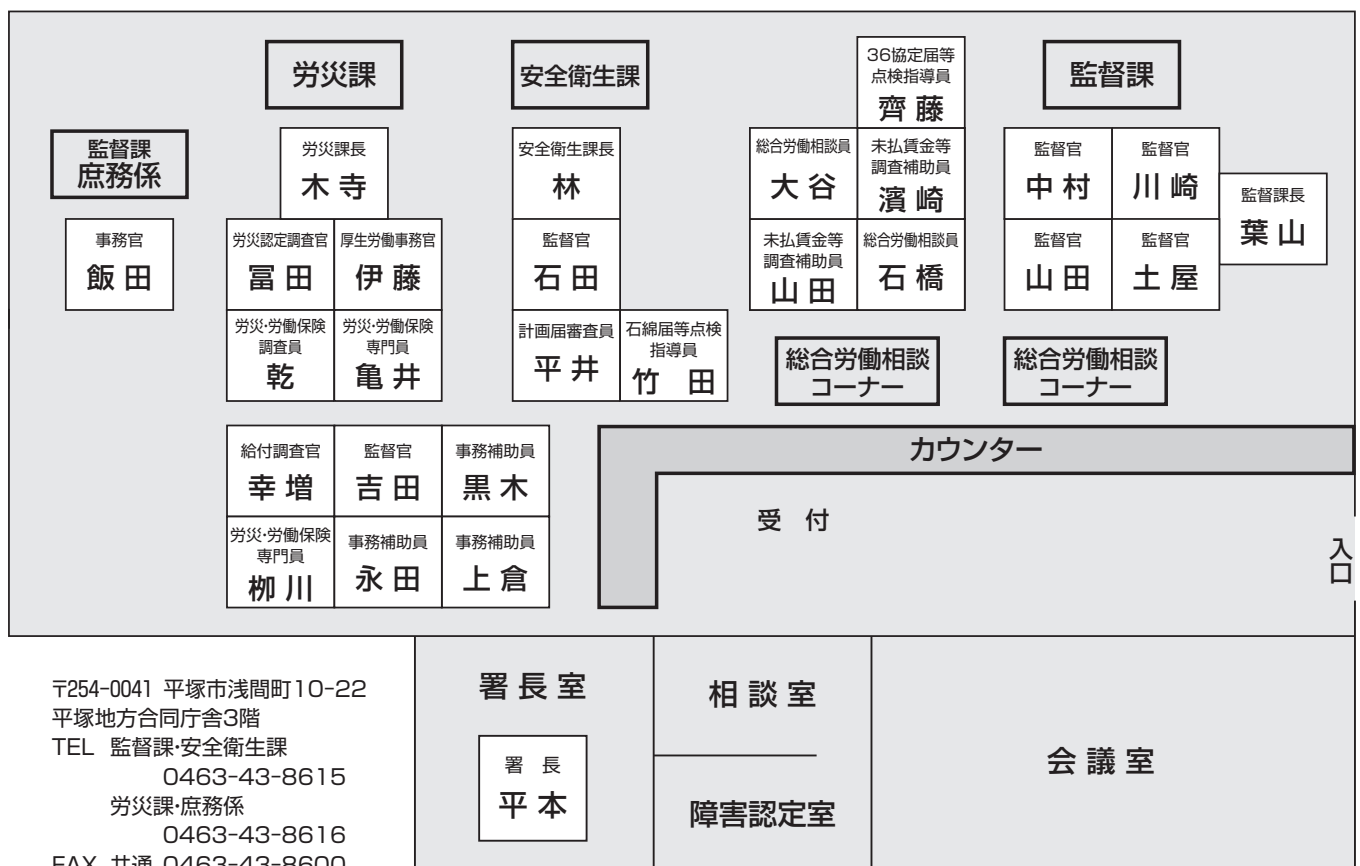
4月1日付けで厚木労働基準監督署から異動してまいりました。労働者保護の観点から、懇切丁寧な対応を行うとともに、請求に対して適正に処理し迅速な給付に努めていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

平塚労働基準監督署組織図

(令和3年4月1日現在)



平塚労働基準監督署 業務案内・職員配置図



監督署からのお知らせ

令和3年度神奈川労働局・労働基準監督署の重点施策
～すべての人がいきいきと働くかながわを目指して～

**神奈川労働局では、以下の点を今年度の重点施策とし、
行政を推進してまいります。**

【ウィズコロナ時代に対応した労働環境の整備、生産性向上の推進】

- (1) 「新たな日常」の下で柔軟な働き方がしやすい環境整備
「新しい働き方」に対応した良質な雇用型テレワークの導入・定着促進を図ります。
- (2) ウィズコロナ時代に安全で健康に働くことができる職場づくり
 - ・職場における感染防止対策等の取り組みの推進を行います。
 - ・働き方改革の実現に向けて取り組みます。
 - ・労働条件の確保・改善対策に取り組みます。
 - ・労働者が安全で健康に働くことができる環境の整備に努めます。
 - ・迅速かつ公正な労災保険の給付を行います。
- (3) 最低賃金、賃金引上げに向けた生産性向上等の推進、同一労働同一賃金など雇用形態に関わらない公正な待遇の確保
 - ・最低賃金制度の適切な運営を実施します。
 - ・雇用形態に関わらない公正な待遇の確保に努めます。
- (4) 労働保険制度の適切な運営
 - ・未手続事業をなくす対策と適正かつ実効性のある滞納整理を実施します。
 - ・電子申請の利用促進を図ります。
 - ・迅速適正な労災保険の給付に努めます。

■労働災害発生状況（労働者死傷病報告件数）

（令和3年4月8日現在）

		製造業	食料品 製造業 (製造業の内数)	建設業	道路貨物運送・ 陸上貨物取扱	小売業	社会福祉 施設	飲食店	その他	計
平 塚 労働基準 監督 署	令和2年	85	27	51	56	71	53	26	114	456
	うち死亡災害	0	0	0	1	0	0	0	1	2
	令和元年	111	27	58	63	58	40	23	113	466
神 奈 川 労 働 局	うち死亡災害	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	平成30年	107	32	55	75	69	50	26	154	536
	うち死亡災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神 奈 川 労 働 局	令和2年	924	344	824	1,044	992	1,005	379	2,449	7,617
	うち死亡災害	5	0	14	5	1	0	0	12	37
	令和元年	1,061	328	808	981	917	723	399	2,206	7,095
神 奈 川 労 働 局	うち死亡災害	2	0	10	2	1	0	0	9	24
	平成30年	1,044	285	727	982	937	634	378	2,218	6,920
	うち死亡災害	6	0	10	2	3	0	0	13	34

令和3年度 年間標語

『健康と安全作業を積み重ね 築くゼロ災 みんなの誇り』



雑感

『菜の花とミツバチに想う』

日産車体株式会社 安全環境部 鎌田 秀行

年明け早々に春一番が吹き、桜も平年より約1週間も早く開花して、令和3年の春はなんとも慌ただしく訪れました。私の家のそばにある畑にも2月の初め頃から菜の花が咲き初め、4月を迎える頃には黄色い絨毯が広がっていました。新型コロナで家に閉じこもりがちなので体力不足解消を兼ねて家内と散歩をするたびに、菜の花のまぶしいくらいの黄色が目飛び込んできます。そして同時にミツバチの盛大な羽音に包まれます。『ミツバチが減っていると以前ニュースで言っていたけれどこんなに沢山いて安心した』と家内。ミツバチが減る原因を調べると諸説ありました。異常気象による雨の増加や休耕田の増加による野花の減少、そしてウィルス感染による減少などです。ミツバチも何か感染防止対策をしているのだろうか、ふと考え、きっとミツバチなりに何か対策をしているに違いないと私

は思いました。夕暮れ時になると、あれほど溢れていた羽音がぴたりと止んで、ミツバチたちは一斉に家路につかからず。女王バチからウィルス対策の号令がかかれれば彼らはしっかり守ることでしょう。さて、働きバチと擲擲される我々サラリーマンの新型コロナ感染対策はどうだろう。巷では緊急事態宣言を終了するたびに感染再拡大の声が聞こえます。いやいや、しっかりやっているじゃないか。息苦しいマスクをしながらこの一年、現場の仲間と仕事を続けてきました。そして今日もみんなマスクを着けて黙々と仕事をしています。マスクと消毒、自分ができる感染拡大の対策を粛々と続けようと、あらためて思います。ミツバチたちに笑われないように。そして、来年こそは彼らと一緒に菜の花の色と香りを胸いっぱい吸い込める事を願って。

趣味の鮎釣り



本来ならば、この欄は各種講習会の取材記事を書くところですが、今般のコロナ禍の影響で各種講習会の大半が中止又は延期となっておりますので、今回は私の唯一の趣味の鮎釣りについて書くことにいたしました。

鮎つりを始めたのは、社会人になって3年目の時に職場の先輩から誘われたのがきっかけです。

会社の先輩6人ほどと最初は毛ばりつり(みんなは、チンチン釣りといっていました)を小田原の早川にいきました。

最初は全く釣れずに、俗に言う坊主でした。とは言っても、それから何回かは、坊主か1~3匹程度でした。しか

し、釣り自体は面白かったので懲りずに行っていました。

その年の会社の夏休み休暇近くになって、以前から鮎の友釣りをしていた仲間が友釣りに誘ってきました。友釣りのほうが面白いとのその仲間の言葉を信じて、必要な道具一式を揃えることにしました。当時で5万円程の出費だったと思います。

それから35年程経ちましたが、今も当時の仲間と一緒に釣行しております。会社は各自の都合で別々になってしまいましたが、相も変わらず一緒に釣行しております。

昨年はコロナ禍の影響で、おとり鮎の購入時にはマスク着用、3密回避のお願いがおとり屋からあり、当然のことながら、県外の河川への釣行も自粛しておりました。

今年も昨年同様の状況が続きそうです。

早いコロナ禍の感染の終息を願うばかりです。

山川機械製作所 麻生 記

編集後記

私が編集後記の執筆をしている3月下旬、新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言が解除されました。4月にかけて歓送迎会やお花見など人が集まることが予想されることから、リバウンドが懸念されている今日この頃ですが、そんなある日、自宅に1通のレターパックが届きました。差出人は中学校の同級生で、私が中学卒業時に書いた「大人になった自分への手紙」が入っていました。手紙は将来の夢や好きだった人の名前が書いてあり、読んでいて気恥しくなりました。そして同封されていた同級生の手紙を読

み、なんとも温かい気持ちになりました。

今や個人間のコミュニケーションはSNSが主流となっています。手紙は便箋や切手を用意し、文字を書く手間もかなり面倒です。しかし手紙にはSNSやメールには無い高揚感、趣きさがあり、何度も読み返すことができます。また手書きの字からは、その人の人柄や気持ちがより強く伝わります。これを機にお世話になった人へ手紙を書いてみようと思います。

緊急事態宣言が解除されても、しばらくは私たちの生活が制約される状態は続くことになります。皆さんも大切な人や思いを伝えたい方にお手紙を書いてみてはいかがでしょうか。

スタンレー電気(株)秦野製作所 近藤 記